

第28号

# 広報 県病院だより

県立大島病院：鹿児島県奄美市名瀬真名津町18-1

電話 0997-52-3611 FAX 0997-53-9017

【URL】 <http://hospital.pref.kagoshima.jp/oshima/>

## 大島病院の理念

公立病院として、奄美の医療に貢献し、住民に信頼される病院を目指します。

- 1 わたしたちは、奉仕の精神をもって、患者様に接します。
- 2 わたしたちは、質の高い医療を提供することに努めます。
- 3 わたしたちは、地域の医療・福祉との連携に努めます。

## 県立大島病院の現状と今後の展開

院長 眞田純一

平成28年12月に当院救命救急センターを基地として開始された奄美ドクターヘリは、各方面の協力をいただき、お陰様でほぼ順調に運航がなされており、平成29年7月末までの217日間で261回（1日平均1.2回）の出動となっています。当初の見込みを大きく上回る数であり、早期の治療開始、搬送時間の短縮で奄美の救急医療の展開が大きく変化、改善しています（内訳は、各地域より当院への搬送が70%、鹿児島大学病院など鹿児島の医療機関へ11%、沖縄へ10%、奄美群島内の他の医療機関へ6%、その他出動後キャンセル等）。地域柄、搬送距離が長いことが多く、重複要請で搬送できない症例が27件あり、今後の課題です。奄美は平成29年3月の国立公園指定に続いて、平成30年には世界自然遺産登録が見込まれ、観光客が増加してきており、ドクターヘリのニーズもさらに増えることも予想されますので、より効果的・効率的な運用を目指していく必要があります。

今年度は5年ぶりに神経内科常勤医（2名体制）が復活、これまで脳外科への負担が大きかった脳卒中診療が改善しました。また10年ぶりに病理診断医（週4日勤務）も招聘できたことから、術中迅速診断や剖検等への対応が大きく改善しました。さらに精神科は鹿児島大学医局の支援をいただき、月2回→4回の専門外来となりました。とくに昨今の高齢化社会の到来でニーズが増大している認知症医療という点においても、神経内科復活とともに大きな診療機能改善となりました。これらのこともあり、本年度は患者数が増加、一方では病院機能維持のための看護師不足解消へ向けての努力にも迫られているところです。

地域中核病院・地域医療支援病院として、今後とも奄美地域に不足した診療領域の確保を図っていきませんが、とくに開業医の閉院でさらに支障が大きくなった耳鼻科、そして7月より不在となった口腔外科（鹿



児島大学からの非常勤体制でカバーしていただいているところですが）の復活が喫緊の課題です。

さて7月には第2回の奄美保健医療圏地域医療構想調整会議が開催され、医療機関ごとの役割、連携についての意見交換がなされました。今後は“病院機能に関する専門部会”を立ち上げ、各病院のあり方について専門的立場から具体的仕様を検討していくこととなります。地域における限られた医療資源をより効率良く運用し、高度急性期・急性期から回復期、慢性期さらには施設・自宅へ向けての流れがスムーズにいくように連携を充実させ、“地域包括ケアシステム”の完成を目指します。経済性、そして公共性の両立を目指す県立大島病院の今後の展開に皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

目 次

CONTENTS

- ◆ 県立大島病院の現状と今後の展開・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ◆ ～皮膚科外来移転のお知らせ～・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

■イベント

- ◆ 「奄美ドクターハリ運航調整委員会 消防・医療部会」を開催・・・・・・・・ 4

■院内委員会紹介

- ◆ 感染リンク看護補助者会・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

■お知らせ

- ◆ 院内の絵画・写真を更新しました・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

## ～皮膚科外来移転のお知らせ～

皮膚科部長 馬場淳徳

平成 29 年 3 月 27 日(月)から、皮膚科外来は長年過ごした 2 階から 1 階（昔の救急外来の場所）へと移転しました。

事の発端は本年度からの神経内科常勤体制の再開でした。かねてから内科は診察室が足りておらず、診察場所の確保が困難な状況であったことを耳にしておりました。当科が移転することにより病院全体の診療状況を充実させることができるであろうと判断し、思い切った移転を決断しました。これにより特殊外来を含めた内科の診療を全て 2 階に集約することができ、さらに同階の診察室を増数することができました。



（写真左）

スライドドアに変わり、車椅子の患者さんの出入りがしやすくなりました。



（写真右）

診察室、処置室、光線療法室が一区画にまとまり、すっきりしました。

長年皮膚科に通っていただいている患者さんにとっては慣れないことかと思えます。移転から 4 カ月が経過しましたが未だに間違えて 2 階に上がってしまう方がいらっしゃいます。慣れるのは大変かもしれませんが、これを機に新しい皮膚科外来の魅力を肌で感じていただければ幸いです。

またこの場所はここ数年ほとんど使われていませんでしたので、まだまだ改良すべき点が多いかと思えます。ご不便を感じる点がございましたら、私を含め病院スタッフへお伝えください。

今後とも何とぞ変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

## ■ イベント

### 「奄美ドクターヘリ運航調整委員会 消防・医療部会」を開催

平成29年度第1回奄美ドクターヘリ運航調整委員会消防・医療部会が平成29年8月7日（月）に開催されました。各関係医療機関及び消防機関等の関係者が集まり、平成28年度に出動要請があった事例についての事後検証作業並びに、実績報告についての検討を行いました。

また、災害時における奄美ドクターヘリ運航要領についての検討も行われました。



**当院は敷地内全面禁煙です**  
～皆様のご理解とご協力をお願いします。～

## ■院内委員会紹介

### 感染リンク看護補助者会

感染管理認定看護師 佐藤ひろみ

看護補助者が主として行う環境整備や物品の消毒は、感染対策において重要な業務です。大島病院の看護補助者は感染対策に大変意欲的で、様々な工夫を下さっています。各部署で行っている工夫や知恵を看護補助者みんなで共有したい、感染対策に対する疑問を語る場がほしいと思い、平成 28 年 4 月に「感染リンク看護補助者会」を発足しました。

#### （目的）

- 感染対策における情報交換をすることで他部署の意見や方法を参考にする。
- 情報を共有し感染対策の統一化を図る。
- 小集団活動によって業務改善を行う。

#### （活動内容）

- 第 2 木曜日 15 時～15 時 30 分 各部署から選ばれた看護補助者が集まり、委員会を開催しています。司会や記録は感染管理認定看護師が行っています。
- 平成 28 年度は「環境整備」について、各部署の状況に応じた目標と行動計画を立案し実施しました。
- 他部署ラウンドを行い、他部署の良い点を参考にしました。
- 年度末に活動報告会を行い、2 部署が 1 年間の取り組みを発表しました。
- 平成 29 年度は環境整備の継続として、2 チームに分かれ環境整備の感染管理ベストプラクティスを作成しています。



委員会の様子



活動報告会

#### （活動の成果）

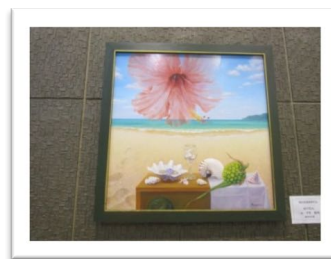
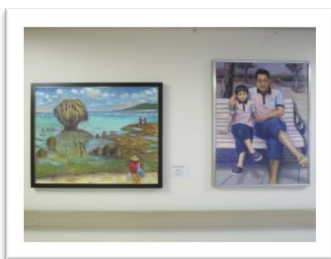
- 感染対策に対する疑問や部署内での改善が困難な点などを看護補助者が自由に活発に意見し、対策の統一、伝達が容易になりました。
- 「患者目線」を意識し、責任を持ち環境整備を行うようになりました。
- 診察台の高さなど医療安全面への配慮もできるようになりました。

## ■お知らせ

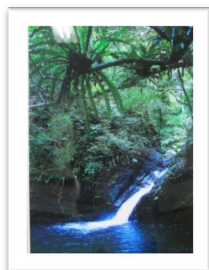
### 院内の絵画・写真を更新しました。



奄美高校（美術部）のご協力をいただき、主に1階と2階の廊下に絵画を展示しています。



また、奄美写真クラブの皆様が撮影した写真を展示していますので併せてご覧ください。  
今後も、定期的に更新されますのでご期待ください。



### 県立大島病院患者権利憲章

わたしたちは、患者様の次の権利を尊重します。

- 1 人間としての尊厳を尊重される権利
- 2 国籍、人種、信条、年齢、性別、社会的身分により差別されない権利
- 3 プライバシーを保護される権利
- 4 常に可能な限り、高度な医療を受ける権利
- 5 病院、治療方針について、必要な情報を得て、自分で決めることのできる権利
- 6 延命措置を選ぶ権利または断る権利
- 7 医療に従事する者の氏名、資格、役割を知る権利
- 8 診療記録の開示を求める権利